

働くお母さんだけでなく 全ての子育て中の人を 助け合いの気持ちでサポート



事前打ち合わせ / 「好き嫌いはい...カボチャが苦手なのね。初めて預けるときは、預かる会員さんのお宅でアドバイザーさん(写真左)を交えて細かい打ち合わせをします。(中央が預ける会員)

皆さんの中に、仕事と育児を両立しているかたや、近所に親しい友人や親兄弟がなくて、子ども毎日一人つきりで過ごしている...というかたはいらっしやいませんか。今回は、そんな一人で頑張っているお母さんに、強い味方を紹介します。私も先日入会させていただいたファミリー・サポート・センターです。富士見の狭山郵便局の斜め前のビルにあるこのファミサポ、働くお母さんの子育てをサポートするためのセンターです。このファミリー・サポート・センターは、国・県の補助を得て狭山市が事業主体として実施しています。県内で一番早く設立された狭山市の場合、検討委員会から市民が深く関わり、文字とおり市民の手で作ったのが特徴です。

このファミサポを利用するために、まず月に1回開催されている入会説明会に出席し、趣旨を十分理解した上で手続きをします。会員みんなが何よりも大切にしているのは、有償の託児ではなく「困っているときはお互いさま」という気持ちなので、利用方法は子どもを預けたい、預ける会員、両方の立場になる、両方会員、3種の会員制度で、預ける会員の大半は働くお母さん、保育所への送迎や病気のときの一時預けが多いそうです。また、預かる会員に多いのは子育てを終えて自分の時間が持てるようになった人で、「もう一度子どもを育てる喜びを味わいたい」と申し込みに来るそうです。中には家中で子どもを預かる日を楽しみにしているというご家族もあるそうです。現在は双方の会員数も非常にバランスよく保たれています。

16号方面
市役所
狭山郵便局
狭山台方面
ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センター
富士見1 14 11 北野第2ビル1階
☎956-7667

REPORTER'S EYE



【リポーター】
うえだ 宇枝妙子さん(水野在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。

皆さんの中に、仕事と育児を両立しているかたや、近所に親しい友人や親兄弟がなくて、子ども毎日一人つきりで過ごしている...というかたはいらっしやいませんか。今回は、そんな一人で頑張っているお母さんに、強い味方を紹介します。私も先日入会させていただいたファミリー・サポート・センターです。富士見の狭山郵便局の斜め前のビルにあるこのファミサポ、働くお母さんの子育てをサポートするためのセンターです。このファミリー・サポート・センターは、国・県の補助を得て狭山市が事業主体として実施しています。県内で一番早く設立された狭山市の場合、検討委員会から市民が深く関わり、文字とおり市民の手で作ったのが特徴です。



ファミサポの入会説明会には、毎回多くのお母さんが参加し、熱心に耳を傾けます。他にも、会員の研修会など活動はとて盛んです。

お母さんが豊かな気持ちでよりよい子育てをするために利用することも可能です。そして、預かる会員もできるだけ近所のお宅を探してくれるので、ファミサポを通して地域のふれあいを深めることもできます。今回お話を伺ったアドバイザーさんは、「ファミサポを利用したことで、本当のおばあちゃんみたいにお子さんが遊びに行けるような関係になったら素晴らしいと思います。」と、こやかにおっしゃいます。そのアドバイザーさんの笑顔が温かく、入会説明でも預ける前の事前打ち合わせでも、きちんと向き合って対応してくれるということが、大切な子どもを安心して預けられることにつながっているんだなと思いました。これからもお互いさまの気持ちを忘れずに、どの子どもも自分の子どものように大切に、子育てをしていけたらと思います。また、一人でも多くのかたが参加して輪が広がればと願っています。